

追加型投信 / 国内 / その他資産(商品)

ファンド情報提供資料
データ基準日: 2026年6月18日

三菱UFJ 純金ファンド 〈愛称: ファインゴールド〉 足下の金価格の動向と今後の見通し

平素は「三菱UFJ 純金ファンド 〈愛称: ファインゴールド〉」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。本レポートでは、足下の市場環境における金(ゴールド)価格の位置づけを整理し、今後の見通しについても解説いたします。

金価格は歴史的な高値圏を経た後の調整局面に入り、足下では上昇ペースがやや落ち着く場面もみられました。こうした動きは、金そのものの価値に大きな変化があったというよりも、金利や為替などの金融環境の影響による可能性があると考えられます。

金価格の足下の動向と中長期トレンド

2026年初来の金価格は、地政学リスクの高まりや中央銀行による継続的な金購入、安全資産に準じる資産としての需要を背景に上昇し、一時は過去最高値圏に達しました。その後は、米国の金利上昇観測や米ドル高、利益確定売りの影響を受けて調整局面に入り、足下では下落しました。原油価格は、中東情勢の緊迫化や供給不安を背景に上昇基調で推移しましたが、6月15日(日本時間)米国とイランが戦闘終結などに関する覚書に合意したとの報道を受け、原油の供給が回復するなどの見方から足下では下落しました。

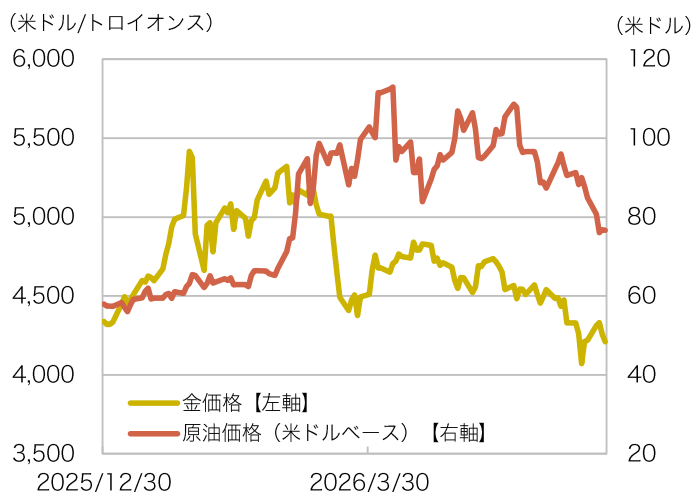
足下では金価格、原油価格ともに下落しましたが、2026年初来においては、両価格の動きに違いがみられる局面も確認されました。こうした短期的な値動きの背景には、原油価格の変動を通じたインフレ期待の変化や、それに伴う米国金利や米ドル動向などが影響していると考えられます。

また同期間の金価格と米国実質金利の推移をみると、概ね逆相関の関係がみられました。近年の金価格の上昇局面の背景には、米国の金利低下を背景とした米ドルの魅力低下に加え、米国への懸念を背景とした安全資産に準じる資産としての金需要の高まりが考えられます。

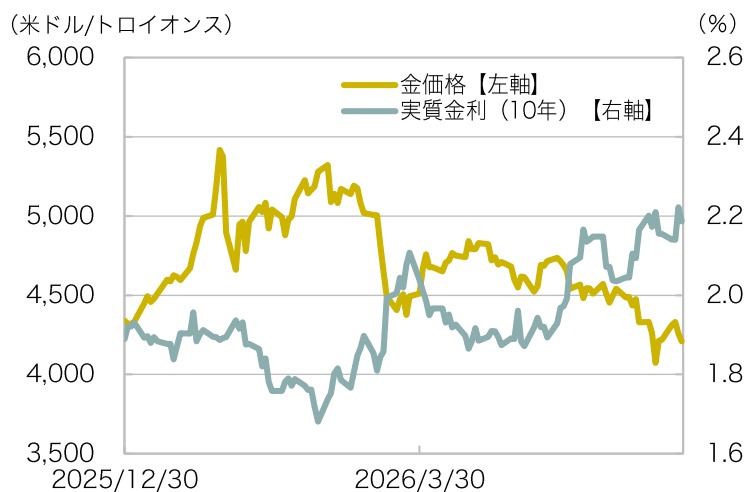
米国では財政赤字の拡大傾向が続く中、過去の量的緩和による米ドル供給量も依然として高水準にあり、通貨価値の希薄化懸念は残存しているものと考えられます。加えて、制裁リスクなどを背景とした外貨準備の多様化や米ドル依存の見直しの動きも一部でみられます。

このため、特定の国家に依存しない価値保存手段としての金の位置づけは引き続き有効であり、中長期的な需要は底堅く推移するものと考えられます。

金価格と原油価格の推移



金価格と米国実質金利(10年)の推移



(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

(期間) 2025年12月30日～2026年6月18日、日次

・金価格はスポット価格、原油価格はWTI原油先物価格を使用しています。米国実質金利(10年)は米国10年国債利回りから10年期待インフレ率(ブレイクイーブンインフレ率)を差し引いたものです。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

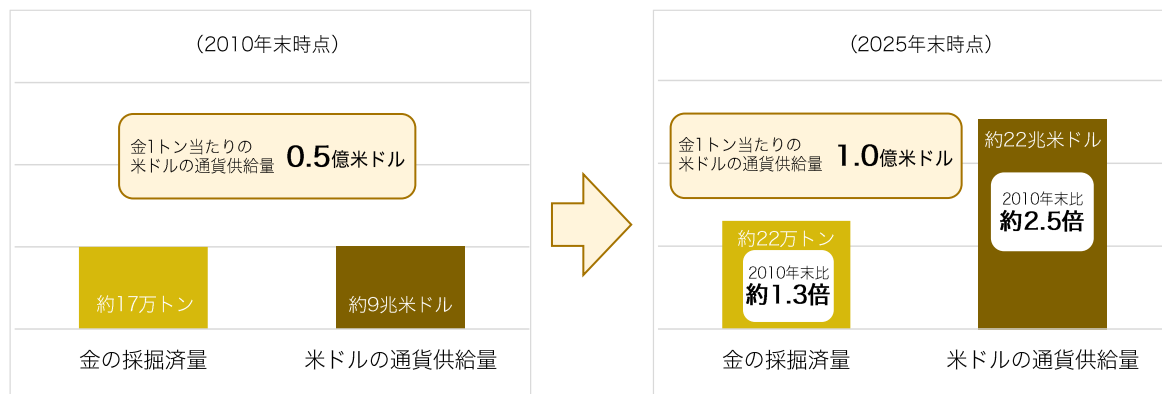
三菱UFJ 純金ファンド 〈愛称: ファインゴールド〉

金の価値を支える構造的要因

2010年から2025年までの15年間で、金の供給量は新たな採掘を加味しても約1.3倍の増加にとどまる一方で、米ドルの通貨供給量は約2.5倍に拡大しました。このように、供給の伸びに大きな差があることから、金に対する米ドルの相対的な価値は低下したとみられ、米ドル建ての金価格上昇の一因となった可能性があります。

地政学リスクの高まりが落ち着いた後には、防衛支出に伴う財政負担の増加などが改めて意識され、通貨供給の拡大や米ドルの価値に対する見方が変化する可能性も考えられます。こうした動きは、特定の通貨に依存しない資産としての金の位置づけを改めて意識させる要因の一つとなり得ます。

金と米ドルの供給量変化



(出所) World Gold Council, Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見直し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

中長期視点での金の役割と投資意義

金価格は短期的には調整局面がみられるものの、長期的にみれば2000年代以降を通じて上昇基調を維持しており、足下の水準も過去との比較では依然として高い水準に位置しています。一方、世界株式も中長期的には上昇傾向にあるものの、リーマン・ショック、コロナ・ショックなどの局面で大きく下落する場面が確認されており、値動きの振れが比較的大きいことが特徴となっています。

こうした点を踏まえると、金は短期的な価格変動に一喜一憂するのではなく、中長期的な視点で保有することで、その価値が発揮されやすい資産であると考えられます。

さらに、金は実物資産としての特性を持ち、通貨価値の変動やインフレ環境に対する耐性を有する点も重要です。過去の局面においても、インフレ期待の高まりとともに価格が上昇する傾向が確認されており、インフレヘッジ資産としての機能も期待されます。このため、ポートフォリオの一部に金を組み入れることは、長期的な資産保全とリスク分散の観点から一定の意義があると考えられます。

金価格と世界株式の推移



(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

・金価格はスポット価格、世界株式は指数(米ドルベース、トータルリターン)を使用しています。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見直し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

三菱UFJ 純金ファンド 〈愛称:ファインゴールド〉

当ファンドの運用状況

2026年初来でみると、金価格はさまざまな要因を受けて変動しながら推移しました。2月の下落局面では、米国株式市場の調整を受けた換金売りに加え、米ドル高の進行などが主な要因になったと考えられます。その後も、イラン情勢など中東を巡る地政学的な動向が、金価格変動の一因となりました。このような値動きのある局面では、時間分散を活かした積立投資といった手法も一般的に用いられるため、以下に当ファンドの積立投資シミュレーションをご紹介します。

当ファンドの設定来の基準価額の推移

(期間: 2011年2月7日(設定日)~2026年6月18日、日次)



当ファンドの年初来の基準価額の推移

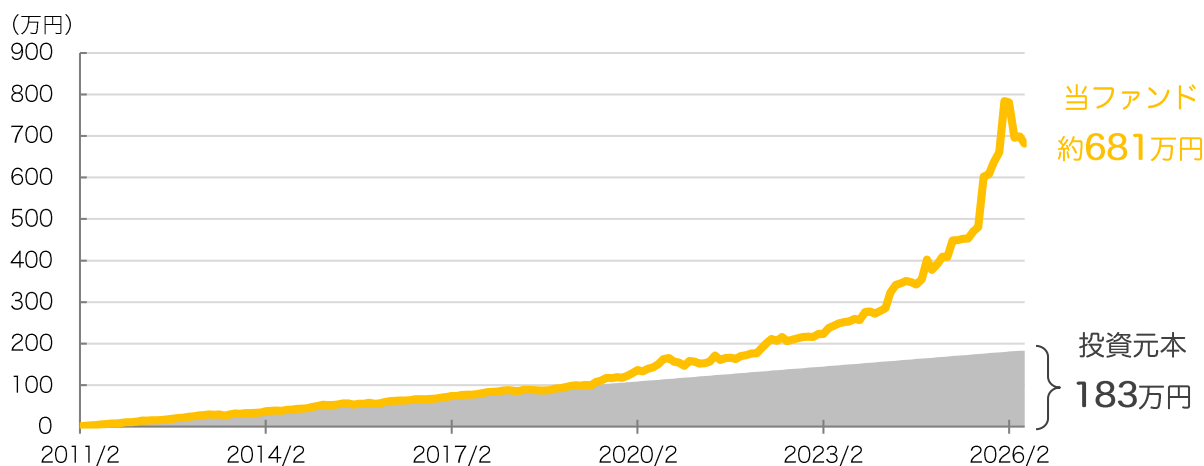
(期間: 2025年12月30日~2026年6月18日、日次)



- ・当ファンドの基準価額(1万口あたり)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
- ・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。・なお、掲載期間においては、分配金をお支払いしていません。
- ・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。
- ・また、税金・手数料等を考慮していません。

当ファンドの設定月末から毎月末(最終月末を除く)に1万円を積立投資したシミュレーション

(期間: 2011年2月末~2026年5月末、月次)



- ・上記はシミュレーションであり、実際の運用とは異なります。したがって、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。また、税金および手数料等を考慮していません。
- ・積立投資は運用状況によっては投資元本を割り込むケースもあります。
- ・計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。
- ・当ファンドは、基準価額(1万口あたり)を使用しており、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
- ・なお、掲載期間においては、分配金をお支払いしていません。
- ・表示桁未満は四捨五入しています。
- ・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

【本資料で使用している指数について】

- 世界株式: MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス

本資料中の指数等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、発行者および許諾者が指数等の正確性、完全性を保証するものではありません。各指数等に関する免責事項等については、委託会社のホームページ(<https://www.amufg.jp/other/disclaimer.html>)をあわせてご確認ください。

三菱UFJ 純金ファンド

〈愛称: ファインゴールド〉

追加型投信／国内／その他資産(商品)

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

わが国の取引所における金価格の値動きをとらえることをめざします。

■ファンドの特色

・「純金上場信託(現物国内保管型)」(愛称:「金の果実」)を主要投資対象とします。

・純金上場信託(現物国内保管型)(愛称:「金の果実」)への投資比率は原則として高位を維持します。

・純金上場信託(現物国内保管型)(愛称:「金の果実」)は国内に保管される金の現物を裏付け資産としており、わが国の取引所における金価格を反映します。わが国の取引所における金価格とは、大阪取引所における金1グラムあたりの先物価格をもとに現在価値として算出した理論価格をいい、ファンドの参考指標です。

・純金上場信託(現物国内保管型)(愛称:「金の果実」)とは、三菱商事が信託委託者として拠出した金の現物を、信託受託者である三菱UFJ信託銀行が信託財産として国内に保管した上で、当該信託財産を裏付けとして発行された受益証券発行信託の受益権を、2010年7月に東京証券取引所に上場したETF(上場信託)です。指標価格は大阪取引所における金1グラムあたりの先物価格をもとに現在価値として三菱UFJ信託銀行が算出した理論価格を使用しています。※2026年1月末時点の内容です。

※ファンドはわが国の取引所における金価格の値動きをとらえることをめざしていますが、ファンドの主要投資対象である「金の果実」の市場価格は市場の需給により変動するため、ファンドの基準価額は金価格の理論値である指標価格および日本における金の店頭小売・買取価格や海外で公表される取引価格と乖離が生じる場合があります。

純金上場信託(現物国内保管型)受益証券(愛称:「金の果実」)の基準価額と市場価格との乖離が著しい場合等には、他の上場投資信託証券に投資することがあります。

■分配方針

・年1回の決算時(1月20日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。

・分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドは、特定の上場有価証券(「純金上場信託(現物国内保管型)」(愛称:「金の果実」)をいいます。)への投資に係るリスクを伴いますが、複数銘柄に分散する場合に比べ、分散投資効果が得られないことから、当該上場有価証券が受けるリスクの影響をほぼ直接に受けます。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動リスク	一般に、金地金の指標価格は金の需給関係や為替、金利の変動など様々な要因により大きく変動します。また、組入上場有価証券は金地金の指標価格の変動等の影響を受けて変動します。このため、ファンドはその影響を受け、組入上場有価証券の価格の下落は基準価額の下落要因となります。
為替変動リスク	ファンドは外貨建資産への投資は行いませんが、当該上場有価証券の裏付けとなる金地金の指標価格は一般的に為替相場の変動の影響を受けます。また、為替ヘッジは行いません。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。また、ファンドが組み入れている上場有価証券は、一般的に株式と比べ取引規模が小さく、取引量も少ないため、流動性リスクも高い傾向にあります。
信用リスク	ファンドは、実質的に金地金のみを保有するため、信用リスクが基本的にありません。ただし、一部余資運用があり、信用リスクはその影響を受けますので、基準価額の変動要因となります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ 純金ファンド (愛称: ファインゴールド)

追加型投信 / 国内 / その他資産 (商品)

投資リスク

■その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
 - ・有価証券の貸付等においては、取引先の倒産等による決済不履行リスクを伴い、ファンドが損失を被る可能性があります。
 - ・ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。
 - ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- 投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- ・ファンドから金地金へ交換することはできません。また、ファンドで直接金地金を保有することはありません。
 - ・ファンドの組入上場有価証券の市場価格と金地金の指標価格は、組入上場有価証券における信託報酬等のコスト負担等により一致した推移となることをお約束するものではなく、ファンドにおいても信託報酬等のコスト負担等により基準価額が指標価格と一致した推移となることをお約束するものではありません。

手続・手数料等

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 / 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位 / 販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して4営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時30分までに販売会社が受け付けたものを当日の申込分とします。 なお、販売会社によっては異なる場合があります。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象とするETFの売買停止等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。
信託期間	無期限(2011年2月7日設定)
繰上償還	投資対象とするETFが、上場したすべての金融商品取引所において上場廃止となった場合には、繰上償還となります。 なお、受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	毎年1月20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に分配金額を決定します。(分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。) 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に「NISA(少額投資非課税制度)」の適用対象となります。ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象です。販売会社により取扱いが異なる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。NISAの概要等については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ 純金ファンド (愛称: ファインゴールド)

追加型投信/国内/その他資産(商品)

手続・手数料等

■ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 購入価額に対して、**上限1.1%(税抜1%)**(販売会社が定めます)
(購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)

信託財産留保額 ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)の総額は、以下の通りです。
日々の純資産総額に対して、**年率0.55%(税抜年率0.5%)**をかけた額

当該ファンド (有価証券の貸付の指図を行った場合)
有価証券の貸付の指図を行った場合には品貸料がファンドの収益として計上されます。
その収益の一部を委託会社と受託会社が受け取ります。
この場合、ファンドの品貸料の**49.5%(税抜45.0%)以内**の額が上記の運用管理費用(信託報酬)に追加されます。

運用管理費用
(信託報酬)

くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

投資対象とするETF 投資対象ETFの純資産総額に対して**年率0.44%程度(税抜年率0.4%程度)**

実質的な負担 当該ファンドの純資産総額に対して**年率0.99%程度(税抜年率0.9%程度)**
※投資対象とするETFの信託(管理)報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。(2026年1月末現在)
※上記料率は今後変更となる場合があります。

その他の費用・手数料 監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。

※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。

なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会: 一般社団法人資産運用業協会

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufig.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称: 三菱UFJ 純金ファンド

商号	登録番号等	日本証券 業協会	一般社団 法人 資産運用 業協会	一般社団 法人 金融先物 取引業協 会	一般社団 法人 第二種金 融商品取 引業協会	一般社団 法人 日本STO 協会
株式会社あいち銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第12号	○		○		
株式会社青森みちのく銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第1号	○				
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第67号	○	○			
株式会社秋田銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第2号	○				
朝日信用金庫	登録金融機関 関東財務局長(登金)第143号	○				
株式会社イオン銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第633号	○				
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第370号	○				
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○	○	○	○	○
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号	○		○		
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号	○		○		
株式会社SBIネオトレード証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第8号	○		○		
株式会社愛媛銀行	登録金融機関 四国財務局長(登金)第6号	○				
岡崎信用金庫	登録金融機関 東海財務局長(登金)第30号	○				
岡三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○	
おかやま信用金庫	登録金融機関 中国財務局長(登金)第19号	○				
株式会社きらやか銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第15号	○				
株式会社熊本銀行	登録金融機関 九州財務局長(登金)第6号	○				
株式会社高知銀行	登録金融機関 四国財務局長(登金)第8号	○				
株式会社三十三銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第16号	○				
株式会社静岡銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第5号	○		○		
七十七証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長(金商)第37号	○				
株式会社清水銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第6号	○				
株式会社十八親和銀行	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第3号	○				
株式会社十六銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第7号	○		○		
十六TT証券株式会社(ラップ専用)	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第188号	○				
株式会社荘内銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第6号	○				
新大垣証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第11号	○				
スターツ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第99号	○	○			
株式会社スマートプラス(三菱UFJアセットマネジメント株式会社と共同で投資信託取引サービスmattoco+運営)	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3031号	○	○		○	
株式会社スマートプラス	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3031号	○	○		○	
スルガ銀行株式会社	登録金融機関 東海財務局長(登金)第8号	○				
株式会社仙台銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第16号	○				
株式会社大光銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第61号	○				
株式会社但馬銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第14号	○				
CHEER証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3299号	○	○			
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第114号	○				
中銀証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第6号	○			○	
株式会社中国銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第2号	○		○		
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号	○	○	○	○	○
株式会社東北銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第8号	○				
株式会社東和銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第60号	○				
株式会社栃木銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第57号	○				
株式会社鳥取銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第3号	○				
株式会社富山第一銀行	登録金融機関 北陸財務局長(登金)第7号	○				
株式会社名古屋銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第19号	○				
株式会社南都銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第15号	○				
南都まほろば証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第25号	○				
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第50号	○			○	
株式会社百五銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第10号	○		○		
百五証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第134号	○				
株式会社福岡銀行	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第7号	○		○		
PayPay銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号	○		○		
PayPay証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2883号	○				
株式会社北都銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第10号	○				
ほくほくTT証券株式会社	金融商品取引業者 北陸財務局長(金商)第24号	○				
株式会社北洋銀行	登録金融機関 北海道財務局長(登金)第3号	○		○		
北洋証券株式会社	金融商品取引業者 北海道財務局長(金商)第1号	○				
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号	○		○		

・商号欄に*の表示がある場合は取次販売会社です。・商号欄に(※)の表示がある場合は新規申込のお取扱いを中止しております。

販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称: 三菱UFJ 純金ファンド

商号	登録番号等	日本証券 業協会	一般社団 法人 資産運用 業協会	一般社団 法人 金融先物 取引業協 会	一般社団 法人 第二種金 融商品取 引業協会	一般社団 法人 日本STO 協会
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○	○
株式会社三菱UFJ銀行(インターネット専用)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	○		○	○	
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号	○	○	○		○
株式会社宮崎銀行	登録金融機関 九州財務局長(登金)第5号	○				
moomoo証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3335号	○	○			
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第38号	○				
めぶき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1771号	○				
株式会社山梨中央銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第41号	○				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	○
株式会社琉球銀行	登録金融機関 沖縄総合事務局長(登金)第2号	○				
ワイエム証券株式会社(ラップ専用)	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第8号	○				
沖縄県労働金庫*	登録金融機関 沖縄総合事務局長(登金)第8号					
九州労働金庫*	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第39号					
近畿労働金庫*	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第90号					
四国労働金庫*	登録金融機関 四国財務局長(登金)第26号					
静岡県労働金庫*	登録金融機関 東海財務局長(登金)第72号					
中央労働金庫*	登録金融機関 関東財務局長(登金)第259号					
中国労働金庫*	登録金融機関 中国財務局長(登金)第53号					
東海労働金庫*	登録金融機関 東海財務局長(登金)第70号					
東北労働金庫*	登録金融機関 東北財務局長(登金)第68号					
長野県労働金庫*	登録金融機関 関東財務局長(登金)第268号					
新潟県労働金庫*	登録金融機関 関東財務局長(登金)第267号					
北陸労働金庫*	登録金融機関 北陸財務局長(登金)第36号					
北海道労働金庫*	登録金融機関 北海道財務局長(登金)第38号					

*商号欄に*の表示がある場合は取次販売会社です。*商号欄に(※)の表示がある場合は新規申込のお取扱いを中止しております。